

グループ
高大 G



(義務教育終了以降の生徒・学生への SW 研究会)

のご案内

日時 : 7月9日(月) 19:00~20:45頃

場所 : 早稲田大学22号館 510教室
 東京都新宿区西早稲田 1-7-14, 5階
 東京メトロ東西線「早稲田」駅より徒歩約10分

内容 : 「当事者研究」
 話題提供者 : 浅見直輝さん、伊倉真紀さん

対象 : 高校・大学等のSSW・CSWスクールソーシャルワーク・キャンパスソーシャルワークに関心のある方

〔高大G〕は…

高校のスクールソーシャルワークや大学のキャンパスソーシャルワーク等、義務教育終了以降の子ども・若者支援に関心のある人が集まり、隔月(奇数月)勉強会を開いています。

その時々に応じて、関心のあるテーマを選び、お互いに意見交換や情報交換等を行っています。

ゆるやかな会ですので、関心のある方であれば、職種を問わずご参加いただけます。

※ 回によっては資料代等を集めさせていただく場合がありますので予めご了承ください。

今年度の予定 : ③9/10 ④11/12 ⑤1/21 ⑥3/11 ※変更になる場合があります

＜前回5月報告＞ *参加者 19名

「子ども・若者に伝えたい性の知識」というタイトルで、助産師資格を持ち、性的搾取の問題を扱うNPOに勤務する西田さんにお話しいただきました。性教育は生教育(生きることを教える)であると、ユネスコの「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」を紹介。諸外国に比べても、日本の性教育が今の時代を生きる子ども目線にないこと、また、助産師という仕事を通して現場で感じたこと等をお話ししてくださいました。その後それぞれの現場で出会う子どもや若者たちを思い浮かべながら意見交換しました。

◇ 今回(7月)のご案内

当事者研究とは、当事者がかかえる固有の生きづらさに対し、これまでの生活経験で蓄積から生まれた自助(励まし、活かす)と自治(自己治療・統治)を生み出すツールです。方法としては、まずは当事者自身が仲間とともに、関係者や家族と連携しながら、常識にとらわれずに「研究する」という視点に立って語り合い、時には図(絵)や、アクションを用いて出来事や苦勞の起きるパターンや仕組み、抱える苦勞や困難の背後にある意味や可能性を見出すことを重視します。

今回の高大Gでは、実践者より当事者研究の理念から具体的展開方法なども教えていただきます。

【お願い】

※資料代として**500円**を集めさせていただきます。お釣りのないようご用意ください。

※準備の都合上、参加する方は下記(瀬川)までご連絡をお願いします。

日本SSW協会 **高大G** 連絡係: 瀬川

E-mail. keisega18@gmail.com

Tel. 080-4830-1995